

2013

3 月号

第445号

広報
かざまうら
KAZAMAURA

村の花鳥木



はまなす



かもめ



ひば

発行 風間浦村役場
編集 総務課
HPアドレス <http://www.kazamaura.jp/>
印刷所 青森コロニー印刷



ゆかい村風間浦鮫鯨まつり

(鮫鯨の雪中切実演に集まる観客)

▶ 今月の内容 ◀

- 2 風間浦鮫鯨まつり
- 3 布海苔採り体験ツアー
- 4 わだい
- 5 大間警察署からのお知らせ
- 6~7 お知らせ
- 8 社協だより
- 9 健康だより
- 10 年金だより／戸籍の窓

▶ 村民憲章 ◀

- 1、わたくしたちは、きまりを守り、親切で明るい村をつくります。
- 1、わたくしたちは、仕事に喜びをもち、豊かな村をつくります。
- 1、わたくしたちは、青少年に希望を老人に生きがいを、そして心のあたたかい村をつくります。
- 1、わたくしたちは、自然を愛し、花と緑の美しい村をつくります。
- 1、わたくしたちは、常に知識を求め、スポーツに親しみ、楽しい村をつくります。

ゆかい村 風間浦鮫鮓まつり

下風呂温泉旅館組合では、平成24年12月10日から平成25年3月31日までの期間、冬の津軽海峡を代表する超新鮮で最高の食材である「風間浦鮫鮓」を利用し、郷土料理の「和えや刺身などを思う存分に味わえる、ゆかい村『風間浦鮫鮓まつり』を展開しています。



挨拶する駒嶺実行委員会長

平成25年2月10日、下風呂漁港内の特設会場にて、ゆかい村『風間浦鮫鮓まつり』特別イベントと銘打って鮫鮓汁や鮫鮓を販売したほか、鮫鮓雪中切実演や鮫鮓獲ったどーと題した記念撮影会、また、今年新たに活鮫鮓や活ダコ、サクラマス、水草カレイが当たるどん引き大会も行われ、県内外から会場に詰めかけた観客で賑わっていました。

オープニングセレモニーでは、ゆかい村鮫鮓まつり実行委員会駒嶺剛一会長が、「風間浦鮫鮓をトップブランドにするためには、漁場が近く、生きたまま水揚げされる漁法などブランド化に向けた利点を生かすことが大事で、漁業、水産加工業及び観光業に携わるすべての方々が一つになり取り組まなければならぬ」と挨拶しました。

セレモニー終了後に行われた鮫鮓雪中切実演では、約15kgの鮫鮓が10分足らずで解体され、あん肝やほほ肉などの部位が捌かれるたびに詰めかけた観客から歓声が上がっていました。また、鮫鮓汁や鮓の販売にはオープニングセレモニーの前から長蛇の列ができ、用意した数量がすべて完売するほどの盛況でした。

このゆかい村『風間浦鮫鮓まつり』は、冬の有力なイベントとして期待されています。

平成25年2月10日、下風呂漁港内の特設会場にて、ゆかい村『風間浦鮫鮓まつり』特別イベントと銘打って鮫鮓汁や鮫鮓を販売したほか、鮫鮓雪中切実演や鮫鮓獲ったどーと題した記念撮影会、また、今年新たに活鮫鮓や活ダコ、サクラマス、水草カレイが当たるどん引き大会も行われ、県内外から会場に詰めかけた観客で賑わっていました。

オープニングセレモニーでは、ゆかい村鮫鮓まつり実行委員会駒嶺剛一会長が、「風間浦鮫鮓をトップブランドにするためには、漁場が近く、生きたまま水揚げされる漁法などブランド化に向けた利点を生かすことが大事で、漁業、水産加工業及び観光業に携わるすべての方々が一つになり取り組まなければならぬ」と挨拶しました。

セレモニー終了後に行われた鮫鮓雪中切実演では、約15kgの鮫鮓が10分足らずで解体され、あん肝やほほ肉などの部位が捌かれるたびに詰めかけた観客から歓声が上がっていました。また、鮫鮓汁や鮓の販売にはオープニングセレモニーの前から長蛇の列ができ、用意した数量がすべて完売するほどの盛況でした。

このゆかい村『風間浦鮫鮓まつり』は、冬の有力なイベントとして期待されています。



鮫鮓汁の販売



鮫鮓汁等の引換券を求め長蛇の列



地元海産物が当たるどん引き大会



鮫鮓とったど〜記念撮影会

冬の風物詩

布海苔採り体験ツアー



天候に恵まれ海岸に降り立ったツアー客



一生懸命に布海苔を採る参加者

平成25年2月17日、恒例の布海苔採り体験ツアーが行われ、27名の参加者が村を訪れました。当日は気温が低かったものの天候に恵まれ、下風呂海岸に降り立ったツアー客は、自分で採った布海苔は全て持ち帰ることができるとあって、手がかじかむのも忘れ一生懸命に布海苔を採っていました。会場で

は、焼きタコやほたて焼きの他、下風呂漁協女性部の協力のもとふのり汁も提供され、かじかんだ手で器を受け取り「温かくておいしい」と話しながら寒さで冷え切った体を温めていました。また、サプライズで主催者が放したタコを見つけて大喜びする参加者、採りあげるのに悪戦苦闘する人など賑やかなツアーとなりました。このツアーは、2月から3月の間、3度開催されており、参加者の顔ぶれも固定化された様子で、冬の風物詩としてすっかり定着した感があります。



温かいふのり汁とほたて焼きを堪能



タコを見つけて大喜び

第28回 下北地区子ども会

郷土芸能発表会

易国間地区子ども会
「易国間大石神社神楽」出演

第28回下北地区子ども会郷土芸能発表会が、平成25年2月3日(日)下北文化会館において、下北地域の子どもの交流と健全育成及び芸能伝承を目的として、5団体が参加し開催されました。

発表会は、家政萌衣さん(易国間小6年)、川島あゆみさん(同6年)の司会進行により行われました。

開会式では、全出演団体を代表して伊勢諒平くん(同6年)が「練習の成果を発揮し、皆様に満足していただけるよう演じさせていただきました。」とあいさつを行いました。

演技披露の部では、易国間地区子ども会(育成会長 松原史氏)が「易国間大石神社神楽」を披露しました。当初は、少子化等による会員数の減少で、神楽での出演があやぶまれましたが、元子ども会員である中学生14人の協力により出演できることとなり、12月から週2回、易国間神楽会(会長 工藤導彦氏)の指導を受け、練習を行ってきました。

子どもたちは、「郷土芸能伝承」と「下北地域発展」を願い、華麗で力強い神楽を披露し、笛や太鼓、チャガラと神歌を響かせ、会場から

たくさんさんの歓声と拍手をいただきました。今後、易国間神楽の担い手として大いに期待されます。



出演者、指導者及び育成会員のみなさん



易国間大石神社神楽

新島襄生誕記念懸賞論文入選
酒井香朱美さん
(風間浦中学校2年生)

この度、同志社社史資料センター主催の「新島襄生誕記念懸賞論文」に風間浦中学校から応募した結果、2年生の酒井香朱美さんが、入選しました。

酒井さんは、新島襄に関してたくさん資料を集めたり、インターネットで調べたり、これまでの風間浦中学校と同志社中学校との交流などをもとに『新島襄と脱国』と題し論文を書き見事中学校の部において佳作に入選されました。

平成25年2月12日には、京都市の同志社新島会館において行われた「第170回 新島襄生誕記念会」に招かれ、風間浦中学校工藤太校長と共に参加しました。



記念会に招かれた工藤太校長と酒井香朱美さん



主催者、表彰者のみなさんで記念撮影

記念会では、学校法人同志社大谷実総長、井上礼之同志社校友会会長を初め約150名の同志社関係者が集まる中、表彰式が行われ同志社社史資料センター露口所長より表彰されました。

酒井さんは、たくさん調べたことをまとめ上げ論文を書くことは、とても大変でしたが、今回の受賞で色々な経験が出来て、とても楽しかったと感想を語ってくれました。

風間浦中学校からは、5年ぶり2回目の受賞となり、今後も同志社とのさらなる教育、文化等の交流の深まりが期待される貴重な受賞となりました。

大間警察署からのお知らせ

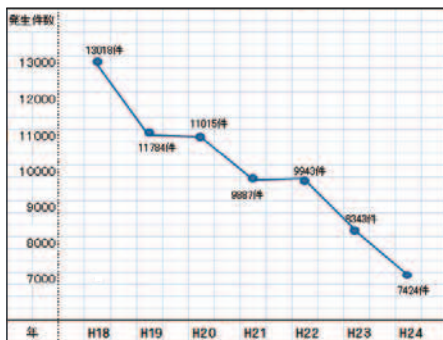
青森県内の治安は回復しつつあります。さらなる「安全・安心」を目指すために

殺人・強盗事件の悪質犯罪の発生により、県内の治安情勢は悪くなっているように思っていないですか？
青森県内において、刑法犯や人身交通事故の発生は年々減少し、実質的な治安はむしろ向上しています。

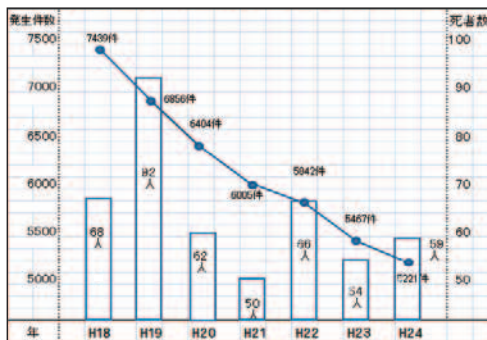
- 1 昨年の刑法犯発生状況（青森県全体）
発生件数 7,424件（前年比 -919件、-11.0%）
- 2 昨年の刑法犯発生状況（大間警察署管内）
発生件数（三町村合計） 47件（前年比±0件 ±0%）
（風間浦村のみ） 10件（前年比±0件 ±0%）
- 3 昨年の人身交通事故発生状況（青森県全体の発生件数・負傷者数は概数）
発生件数 5,221件（前年比 -246件、-4.4%）
死者数 59人（前年比 + 5人、+9.3%）
負傷者数 6,460人（前年比 -330人、-4.9%）
- 4 昨年の人身交通事故発生状況（大間警察署管内）
発生件数（三町村合計） 14件（前年比 - 1件 -7.1%）
（風間浦村のみ） 2件（前年比±0件 ±0%）



県内の刑法犯発生状況（平成18～24年）



県内の人身交通事故発生状況・死者数（平成18～24年）



皆様のおかげをもちまして、青森県の治安は向上しつつありますが、されに向上させるため、鍵かけを励行し、犯罪抑止につとめてください。

※ ご自宅やお車の他、自転車、船小屋や公衆浴場での貴重品ロッカーなどの鍵について、面倒がらずに鍵かけを行ってください。

大間警察署 37-2211
緊急 110番



風間浦消防分署からのお知らせ

《119番通報は消防本部（むつ市）に接続されます。》

平成25年3月5日から、消防緊急通報電話（119）は、下北広域消防本部（むつ市小川町2-14-1）に接続されています。

火事、救急・救助等消防機関に119番通報するときは、住所（市町村名から）や目標物、世帯主等災害発生場所をはっきり伝えてください。

最寄りの消防署所から直ちに消防車・救急車が駆けつけます。

※ 携帯電話からの119番通報は、稀に他の消防本部につながる場合があります。この場合、通報内容を聴き取ってから当消防本部に伝達されるため、出動までに相当の時間を要することになります。

身近に固定電話がある場合は、固定電話からの119番通報を優先するようお願いいたします。

風間浦消防分署（電話0175-35-2101）

お知らせ *~information~*

平成24年分の申告と納付の期限をお忘れなく

平成24年分の申告と納付の期限は次のとおりです。

- 申告所得税、贈与税・・・3月15日（金）
- 消費税及び地方消費税・・・4月1日（月）

◆振替納税をご利用ください

ご指定の金融機関の預貯金口座から自動的に引き落とされる確実に便利な振替納税をぜひご利用ください。

【振替納税による振替日】

- 申告所得税・・・・・・・・・・4月22日（月）
- 消費税及び地方消費税・・・4月24日（水）
- ※ 振替納税を利用しない場合は、ご自分で納付書を記入のうえ、納付の期限までに金融機関（銀行等、郵便局）または税務署の窓口で納付してください。
- ※ 期限を過ぎて申告すると振替納税や延納制度が利用できなくなるほか、加算税がかかる場合があります。
- ※ 納付が遅れると延滞税がかかる場合があります。

お問い合わせ むつ税務署 TEL0175-22-3239

《下北地域県民局県税部からのお知らせ》

◎自動車税と住所変更について

自動車税は、毎年4月1日現在の自動車の所有者に1年分を納めていただく税金で、青森県では6月に課税しています。

自動車税の納税通知書は、原則として車検証に記載されている住所にお送りしています。自動車をお持ちの方は、引っ越しなどで住所が変わったときには、運輸支局で住所の変更登録をする必要があります。3月中にこの変更登録をしていただくと、自動車税の納税通知書も変更後の住所に送られることとなります。

すぐに変更登録の手続きができない事情がある場合は、下北地域県民局県税部まで新しい住所をお知らせください。

また、自動車税の住所変更の届出は県税ホームページでも受付しています。

<http://www.pref.aomori.lg.jp/life/tax/top.html>

下北地域県民局県税部納税管理課 電話22-8581 内線210、211

「多重債務相談窓口」のご案内

東北財務局青森財務事務所では、多重債務相談窓口を設置しております。相談員が借金の状況等をお伺いし、必要に応じて、弁護士等の専門機関に引継ぎを行います。相談は秘密厳守・無料です。お気軽にご相談ください。

【相談専用電話】017-774-6488

【場所】青森市新町2-4-25 青森合同庁舎3階 青森財務事務所

【受付】月曜日～金曜日（祝日・年末年始除く）午前8時30分～午後5時15分

むつ総合病院の入院患者さんへの面会について

《患者さんの安静のため、面会時間を次のように定めています。》

一 般 病 棟	平 日	13:00~20:00	休 日	11:00~20:00
小 児 科 病 棟	平 日	15:00~19:00	休 日	13:00~19:00
メンタルヘルス科病棟	毎 日	10:00~11:00		14:00~16:00

- ・病状、感染防止、防犯等のため面会を制限させていただくことがありますので、ご了承ください。
- ・面会受付票を記入して、ナースステーションへ提出してください。
- ・面会前には必ず手指を消毒して、マスクを着用し、患者さんの負担にならないよう静かに短時間で面会を済ませてください。
- ・小児科病棟は、感染防止のため、お子様の面会をご遠慮ください。
- ・できるだけデイルーム、談話コーナーをご利用ください。

【お問い合わせ】 むつ総合病院医事課 電話0175-22-2111 (内線3331)

津軽海峡フェリーからのお知らせ

津軽海峡フェリーの函館～大間航路については、3/1～3/31まで平常運航いたします。

◆3月の運航時間

函 館 発			大 間 発		
便	出 発	到 着	便	出 発	到 着
6	9:30	11:10	5	7:10	8:50
10	17:00	18:40	9	14:20	16:00

○お問合せ 津軽海峡フェリー大間支店 ☎0175-37-3111

大間病院だより

2年間をふりかえり

大間病院 内科医長 高橋 礼

この度、大間病院での任期を終えて転勤することになりました。

研修医を終えて最初の地域医療の現場として赴任したのが大間病院でした。病院・施設のスタッフや患者さんのほとんどが年上であり、まだまだ社会人としても医師としても未熟な自分に対して、スタッフも患者さんもとても温かく接してくれました。

頭を悩ませることや疲弊することもありました。しかし、そのような時に何よりも頑張る力を与えてくれたのは、患者さんや家族の笑顔でした。それがあれば、どんなに疲れていても頑張れることを実感できました。患者さんを助ける以上に、患者さんに支えられていた、そんな2年間であったような気がします。下北の人々の良いところは、「心」だと思っています。上手には説明できませんが、私の祖母が「口が悪いけど、気持ちちはいい」と言っていたのがよく思い出されていました。

4月からは青森県立中央病院 外科・消化器外科に勤務となります。専門領域に関して深く学び、研鑽を積んでいきたいと思っています。大きな病院に移っても、大間病院で学んだこと、感じたことは決して忘れないと思います。それくらい、この2年間は自分の人生の中でとても貴重で忘れられない期間であり、自分の人生にとって宝物になると思っています。

2年間大変お世話になりました。

社協だより

Vol.236

赤い羽根共同募金は村内の福祉事業に活かされます

昨年十月より全国一斉に行われた「赤い羽根共同募金運動」では、皆様の深いご理解のもと、たくさんの方の善意をお寄せいただき、おかげさまで前年度を上回る募金額となりました。

村内の募金活動に多大なるお力添えをいただいた募金ボランティアの皆様、募金にご協力下さいました方々に心より感謝を申し上げます。

【平成二十四年度募金実績】

- ◎目標額 五二〇,〇〇〇円
- ◎実績額 五二五,五五〇円
- (前年度 五二〇,三〇一円)

(内訳)

- ・戸別募金(六七一世帯) 四三四,一七〇円
- ・学校募金(NHK歳末分を除く) 一七,九八〇円
- ・職域そのほか 七三,四〇〇円

※実績額は、二十五年一月末現在の額です。

県内における共同募金運動は、社会福祉法人青森県共同募金会(県共募)が行っています。

各市町村には、社会福祉協議会が事務局を運営する「共同募金委員会」が設置されています。

【募金の使いみち】

県内各市町村委員会に寄せられた募金(寄附金)は、県共募に送金され、翌年度に県内の社協、福祉施設、非営利活動団体等の助成金として使われます。

上記実績により、当協議会には、二十五年において三十六万円が助成され、「移送サービス」や「児童と高齢者の交流会」の事業費として使われます。

残る十七万円は県共募事務費、県内施設等助成金、大規模災害時用の積立などにあてられます。

◎移送サービス

住民会費、共同募金助成金、村補助金により運営されています。

寝たきりや車椅子を常時使用されている方、歩行困難で自家用車や公共交通機関による移動が難しい方をリフト付車両で病院や施設に送迎します。

利用料は無料で、二十三年度は、延べ八八六人の方が利用されています。

老人クラブ連合会 新年研修会開催

一月十八日(金)「げんきかん」において、風間浦村老人クラブ連合会(会長・佐々木久次郎)の新年研修会が開催され、会員四十四名が参加しました。

午前中は、シルバー先生を務めている易国間長寿会の皆野俊雄さんが同じ高齢者としての目線で交通安全について呼びかけたほか、風間浦駐在所和田雅道巡査部長より、ご講話をいただきました。

参加者は、身近で起きている交通事故の事例などを聞き、交通安全に対する共通理解を深めました。

午後には、来賓の飯田村長、中津社協会長、坂本福祉センター長と共に歌や踊りなどを楽しみ、和やかに新年を祝いました。

皆様、今年も互いに支え合いながら元気に頑張りましょう(佐藤)



飯田村長祝辞



皆野シルバー先生のお話し



和田巡査部長の講話



易国間長寿会のみなさん♪

健康 だ よ り

3月は自殺対策強化月間です!!

毎年3月は『自殺対策強化月間』と定められています。警察庁の発表によると平成24年中に自殺してしまった方は、15年ぶりに3万人未満になる見込みとの報道がありました。依然として青森県内だけでも350人ほどが亡くなっている現状があります。

その中でも3月は一年間の中で自殺者の数が多いと言われています。これは決算時期で業務が忙しいことや入学・卒業・人事異動などの節目の時期でストレスがかかりやすいためと言われています。

自殺は周りの人が悩んでいる人に気づくことにより防げるものです。忙しい時期だからこそ周りを見まわし、声をかけあってみてはいかがでしょうか？

平成24年中の自殺の状況

(平成25年1月 警察庁発表による)

一年間の合計	2万7766人	その内、3月の自殺者	2,584人
※男性	19,216人	※男性	1,828人
女性	8,550人	女性	756人

⇒減少はしてきているが、依然として3月は自殺者が多い!!

(特に男性!!)

周囲の人ができる自殺予防のための行動

① <気づき> : 家族や仲間の変化に気づき、声をかける

⇒周囲の変化に敏感になり、自分にできる声かけをしましょう!

② <傾 聴> : 本人の気持ちを尊重し、耳を傾ける

⇒悩みを話してくれたら時間をかけて傾聴しましょう!

励ましは逆効果になることが多いので厳禁です!!

③ <つなぎ> : 早めに専門家に相談するよう促す

⇒こころの病気や問題を抱えている場合は専門家につなぎましょう!

④ <見守り> : 温かく寄り添いながら、じっくりと見守る

⇒自然な雰囲気です声をかけ、あせらずにゆっくりと見守りましょう!

何か気になること、相談したいことがあれば遠慮なく村民生活課まで!!

村民生活課 保健衛生グループ 電話35-3111

年金 だより

国民年金後納保険料納付書の 使用期限にご注意ください！

過去10年間に納め忘れた国民年金保険料については、平成24年10月から後納制度を利用して納付することが可能となりましたが、後納制度の申込みをされ、平成15年4月分以降（平成14年10月から平成15年3月までの保険料は、平成25年4月以降は納付できません。）の後納保険料のお支払いが済んでいない方は、お手元の納付書の納付期限が平成25年3月31日になっていますのでご注意ください。

なお、平成15年4月以降の後納保険料を平成25年4月1日以降に後納保険料を納付される場合は、使用期限が平成26年3月末までの納付書が必要となりますので、下記国民年金保険料専用ダイヤルまたはお近くの年金事務所までお問い合わせください。

▲ ご注意 ▲

- 後納保険料の使用期限は当時の保険料から10年目の月の末日です。
使用期限を経過すると納付できません。
例：平成15年4月分 ⇒（使用期限）平成25年4月30日
- 保険料の加算額は年度（4月1日から3月31日まで）により定められます。
前年度に発行された納付書は使用できません。

お問い合わせは、『国民年金保険料専用ダイヤル』へ



0570-011-050

<受付時間>

月～金曜日 午前8：30～午後5：15

戸籍の窓

（1月届出分）

●お悔やみ申し上げます

菊池	みなさん	(86歳)	蛇浦
能渡	光雄さん	(55歳)	易国間
宮古	弘樹さん	(50歳)	桑畑
北川	ウエさん	(86歳)	下風呂
土橋	正敏さん	(80歳)	下風呂
傳法	毅さん	(39歳)	下風呂

私たちの村の人口

（1月末現在）

男	1,147人	（先月比-1人）
女	1,174人	（ // -1人）
計	2,321人	（ // -2人）
世帯数	1,014世帯	（ // +3世帯）